



富士通 19 インチラック“モデル 2642”への スリム P D U 搭載検証

ダイトエレクトロン株式会社
Eaton Project 企画
森崎 文博

1. 本検証について

【作業期間】：2013年8月9日

【作業場所】：富士通検証センター

【目的】：富士通製 19 インチラックにスリム PDU を搭載検証し、搭載制限や取付け手順を確認する。

2. 使用した機材

2-1 富士通 19 インチラック モデル 2642(スリムラック)



富士通 19 インチラック モデル 2642：仕様詳細

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/pdf/rack/rack-note01.pdf#page=25>

2-2. スリム PDU 「DT2301604」、「DT2301604M」

IEC C13 と C19 を搭載したベーシックタイプと系統別の電流表示が可能な PDU、2 機種を搭載検証した。

定格：30A 200V

口数：C13×16 口+C19×4 口 系統別電流表示有/無

コード長：1m (NEMA L6-30P 付き)

出力電圧：単相 AC 200V

最大電流：IEC 320 C13 10A ,

IEC320 C19 16A

寸法：DT2301604 H:1352mm W:44mm D:29mm (ベーシック)

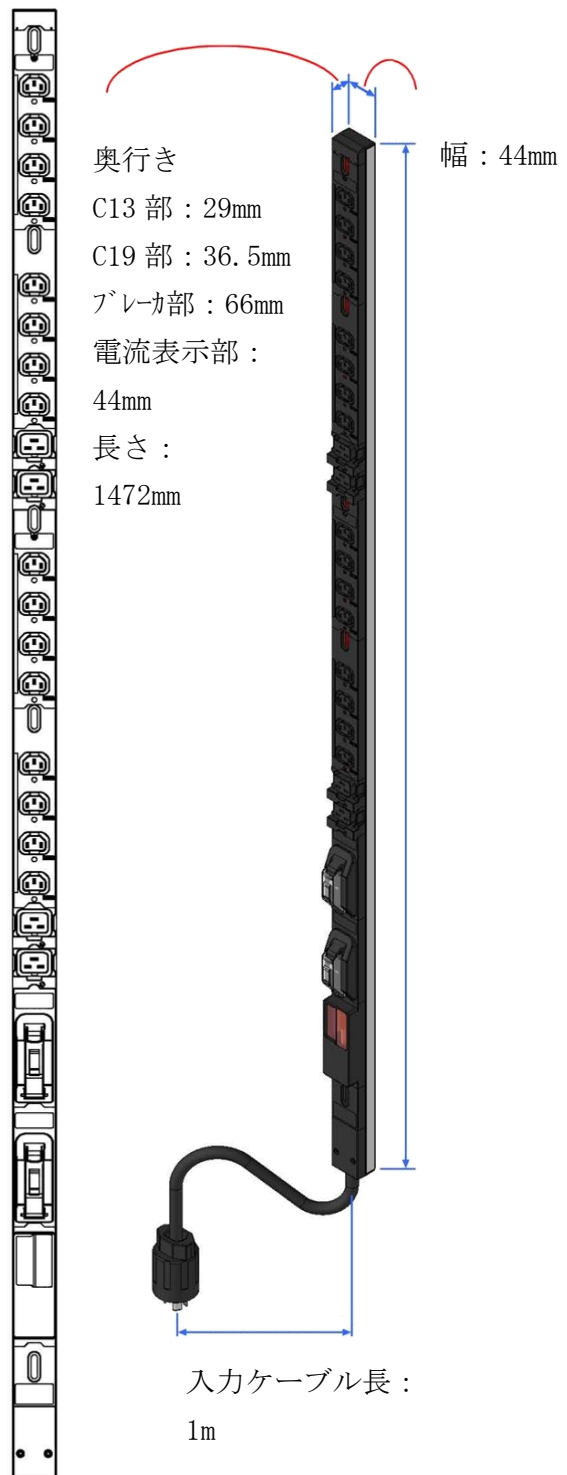
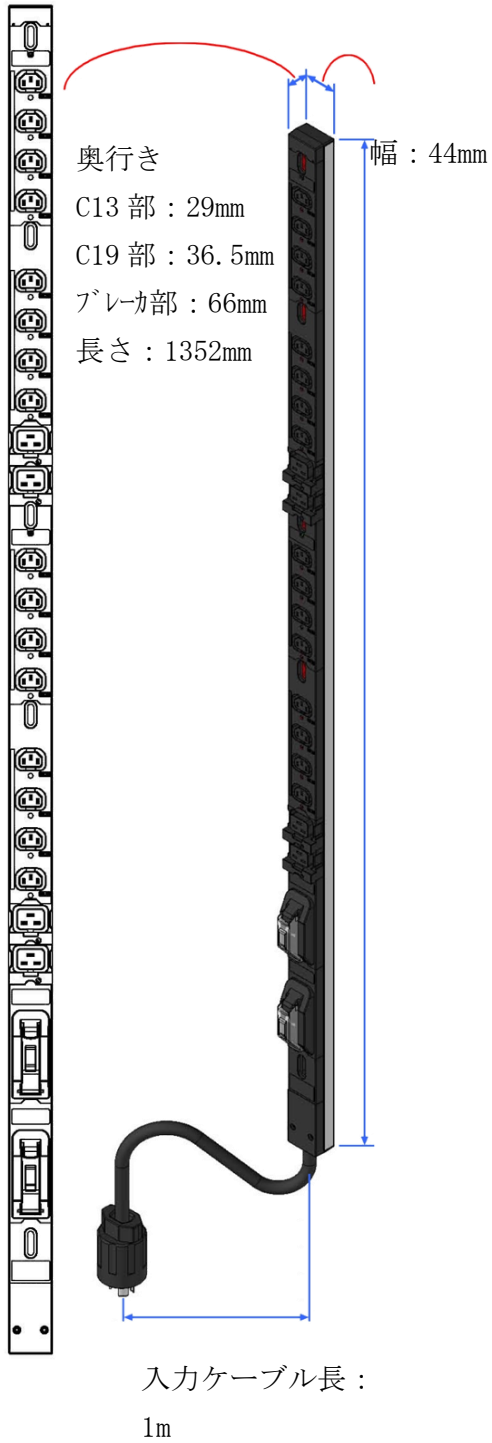
DT2301604M H:1472mm W:44mm D:29mm (系統別電流表示有り)

標準付属品：L 型金具 3 個、M5×30mm ネジ 6 本、M5×20mm ネジ 6 本、

L 型金具用ワッシャー (1.6mm 厚)

“DT2301604”

“DT2301604M”



3. 検証方法

スリム PDU2 台を富士通製ラック（上記モデル）に搭載する。

1 台目は、スリム PDU 本体の取付け穴に標準付属品の M5×30mm ネジ 3 本を使用して取付ける。

2 台目は、標準付属品の L 型金具に M5×20mm ネジ 6 本と M5×30mm ネジ 3 本を使用して富士通製ラック 2642（スリム）への取付けを確認する。

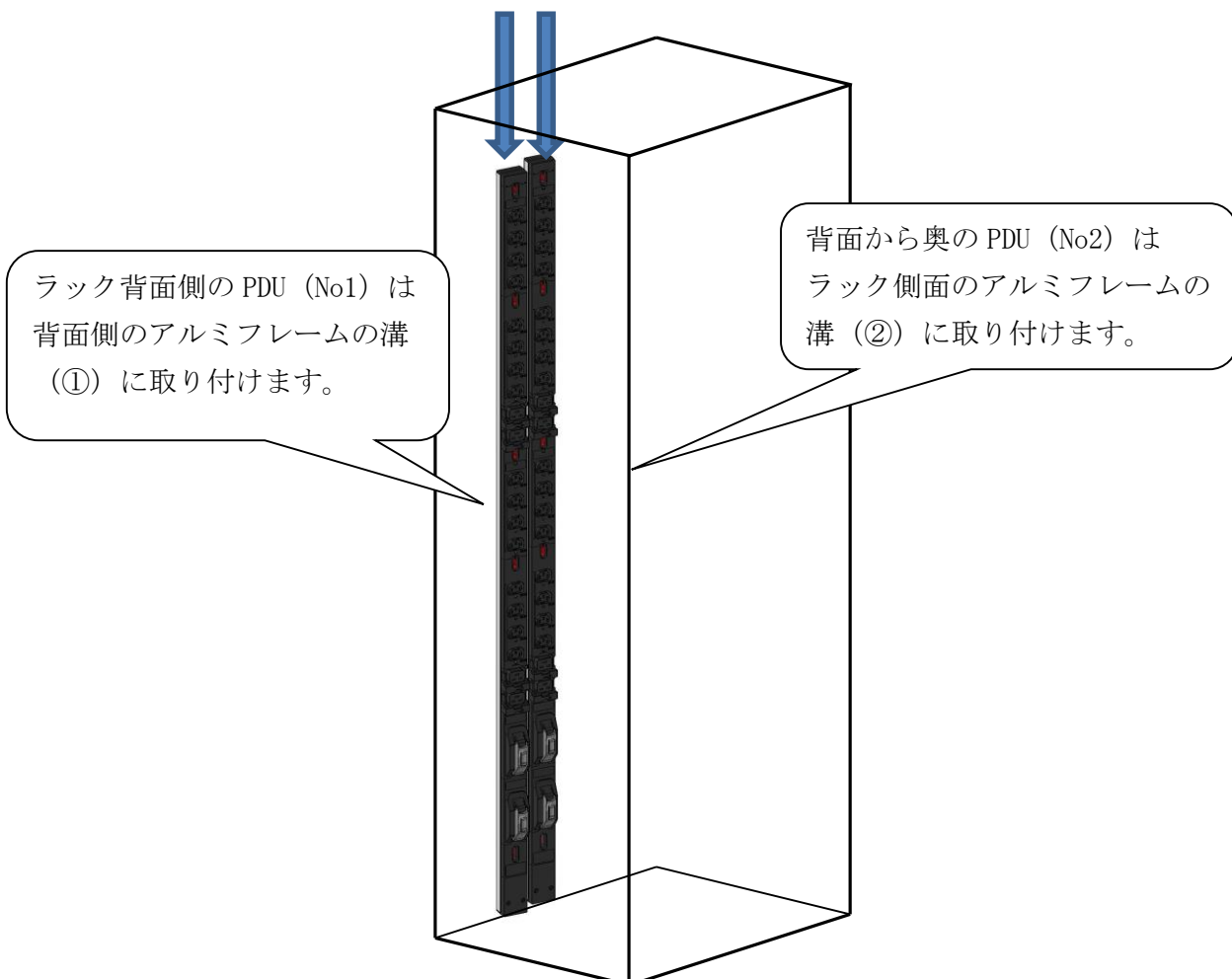
4. 検証結果

4-1 搭載する箇所

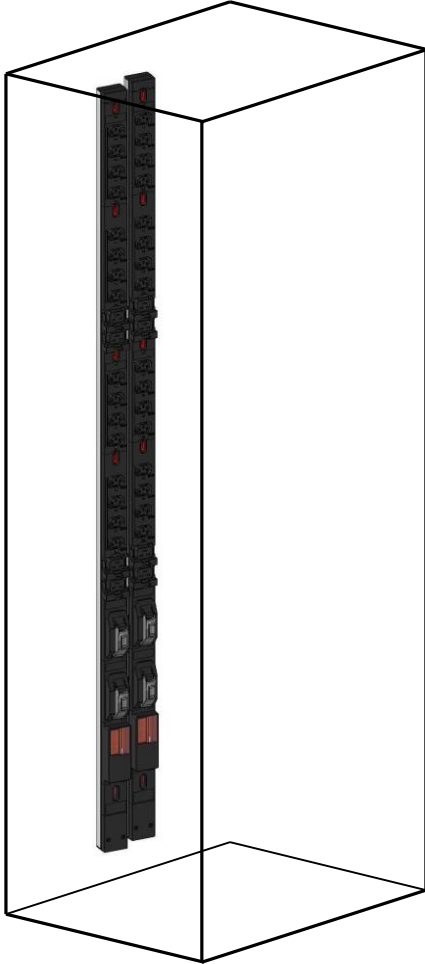
1 台目は下図 No1 として、ラック背面から見て手前側のアルミフレームの溝に PDU を直接取付ける。

2 台目は下図 No2 として、ラック背面から見て奥側のアルミフレーム溝に L 型金具を使用して PDU を取付ける。

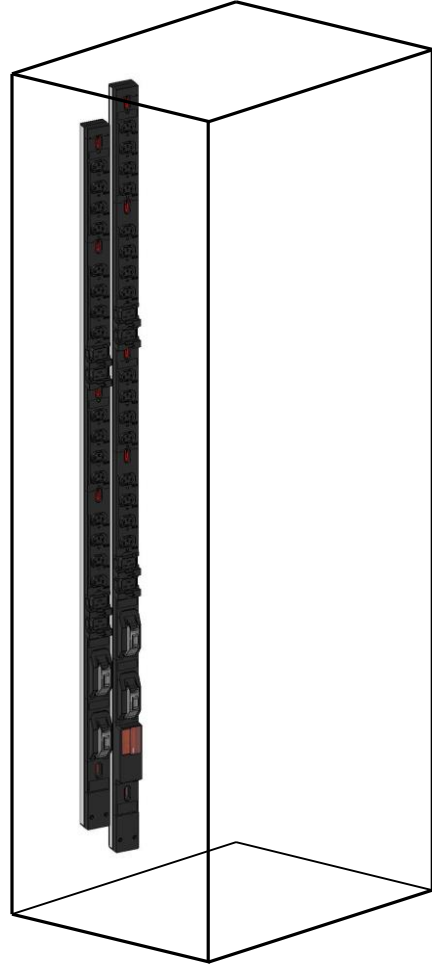
No1 No2（DT2301604 同機種 2 台設置）

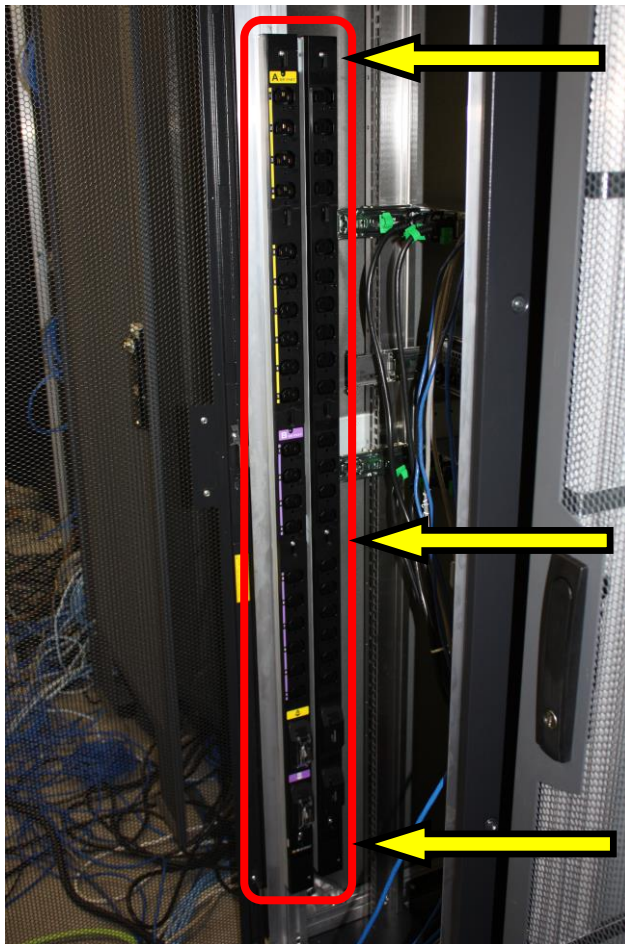


(DT2301604M 同機種 2 台設置)



(DT2301604 と DT2301604M 2 台設置)





PDU 本体穴上中下 3 箇所でネジ留めします。

*PDU はラック背面の左右どちらの側のアルミフレームにも搭載可能です。

4-2 搭載方法 (取付け手順)

上図 No1 の PDU は、下写真 1 アルミフレーム①の溝に設置されているコアラットネジと標準付属品の M5×30mm ネジ 3 本を使用して取付ける。

ネジ留め箇所は PDU の上中下 3 箇所の本体穴から留める。

上図 No2 の PDU は、写真 1 アルミフレーム②の溝に設置されているコアラットネジに下写真 2 のように標準付属品の M5×20mm ネジ 2 本と厚み 1.6mm のワッシャー 2 個を使用して L 型金具を取り付ける。その後、標準付属品の M5×30mm ネジ 3 本を使用して PDU の上中下 3 箇所の本体穴からネジ留めする

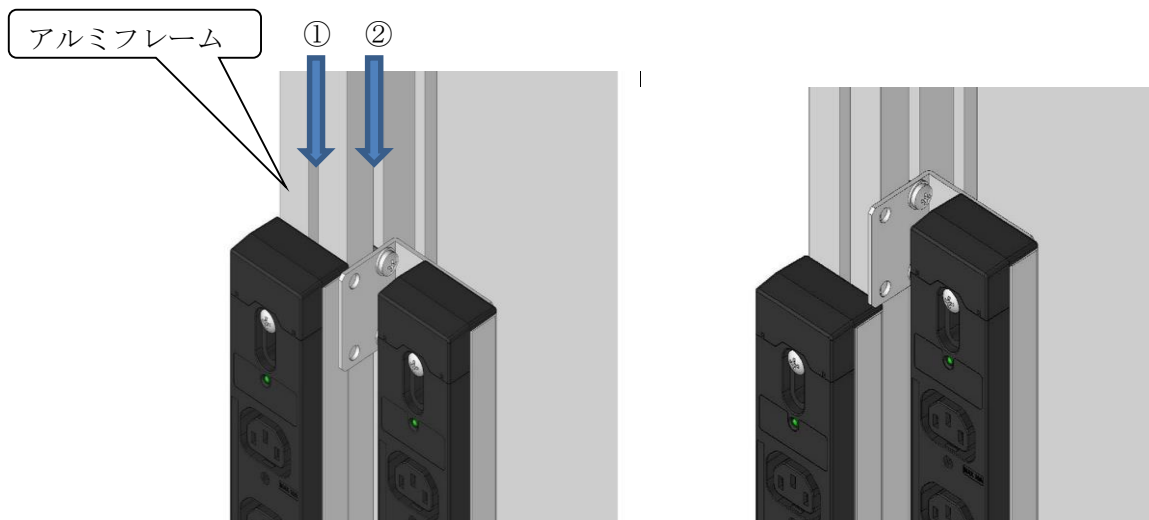
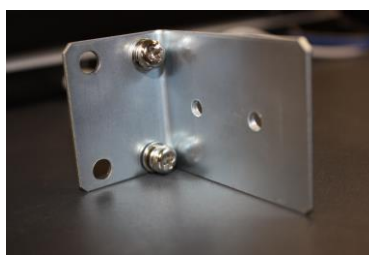


写真 1 (DT2301604 又は DT2301604M 同機種 2 台設置) (DT2301604 と DT2301604M 2 台設置)



写真 2

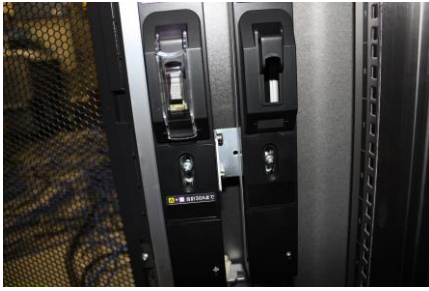


L 型金具の背面にワッシャーを取付け



取付け拡大写真
本体穴 上

本体穴 中



本体穴 下

4-3 搭載時の注意事項

今回の検証は、標準付属の M5 ネジを使用しましたが、M6 ネジも取付け可能です。尚、PDU 本体と L 型金具を留めるネジは M5 のみ（M6 ネジは取付け出来ません）となります。

4-4 プラグ抜け防止対策

プラグ抜け防止のコードクランプの適用により、抜け防止が可能となります。別売りオプションとして準備しておりますので、PDU ご購入時に必要数をお申し付け下さい。

4-5 搭載結果

富士通製ラックモデル 2642 ヘスリム PDU を取り付けた結果、全く問題なくラック片サイドに 2 本（両サイドで最大 4 本）搭載することができました。また、本体の下方はケーブル用のマージンは十分確保されておりました。

◆提供可能時期

2013 年 12 月末リリース予定

●製品に関するお問い合わせ先

ダイトエレクトロン株式会社 Eaton プロジェクト

mail : eaton@daitron.co.jp

Tel: 03-3264-0207

以上